



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 福留ハム株式会社

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 修治

問合せ先責任者 (役職名) 経理支援部長

(氏名) 明石 嘉典

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	22,541	△2.5	575	△17.7	569	△15.2	249	70.5
23年3月期第3四半期	23,128	△1.5	699	△18.6	671	△20.3	146	△66.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 311百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 140百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	14.95	—
23年3月期第3四半期	8.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	18,708	4,733	25.3
23年3月期	17,385	4,472	25.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,732百万円 23年3月期 4,471百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,700	0.1	620	△4.8	600	△2.4	250	124.8	14.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	17,000,000 株	23年3月期	17,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	297,214 株	23年3月期	296,501 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	16,703,201 株	23年3月期3Q	16,803,671 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的で判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から持ち直しの動きがみられたものの、欧州債務問題に端を発した国際金融不安の高まりや急激な円高の持続など極めて厳しい状況となりました。

当業界におきましては、食肉による食中毒事件や牛肉のセシウム汚染問題等の影響による需要の低迷や、包装資材及び燃料の高騰による製造コストの上昇、及び、消費者の節約志向や市場競争激化による加工食品価格の下落が続くなど、依然として厳しい環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求する一方、コンプライアンスを重視した社員教育の実施及び、経営理念の浸透を図ってまいりました。また、引き続き生産革新に基づく「ローコスト・オペレーション」のさらなる浸透を図り、コスト削減に努めてまいりました。販売に関しましては、「ソースが決めてのおいしいハンバーグ」の販売強化を図るとともに、当社ホームページをリニューアルし商品紹介を充実させ、さらに、「ロマンティック街道キャンペーン」として平成23年6月より当社ホームページでクロズド懸賞を実施するなど、商品のアピールに努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、225億41百万円（前年同四半期比2.5%減）となりました。利益につきましては、営業利益は5億75百万円（前年同四半期比17.7%減）、経常利益は5億69百万円（前年同四半期比15.2%減）、四半期純利益は2億49百万円（前年同四半期比70.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

加工食品事業

加工食品事業におきましては、「ソースが決めてのおいしいハンバーグ」は引き続き好調に推移し、売上を伸ばしたものの、消費者の節約志向や市場競争の激化による価格の下落等によりハム・ソーセージの売上高は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は107億27百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

食肉事業

食肉事業におきましては、国内牛・国内豚はともに回復傾向にありますが、依然、消費者の節約志向等の影響もあり国内食肉は前年同期を下回りました。輸入食肉におきましては、扱い量は順調に推移し前年同期を上回りましたが、売上高は、販売価格の下落でわずかながら前年同期を下回りました。

その結果、売上高は118億14百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産等の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億23百万円増加の187億8百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億44百万円増加の91億62百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1億88百万円の減少、受取手形及び売掛金14億60百万円及び商品及び製品69百万円の増加等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円減少の95億46百万円となりました。主な要因は、繰延税金資産61百万円の減少等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億62百万円の増加の139億75百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ12億78百万円増加の104億77百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金9億80百万円及び短期借入金2億65百万円の増加等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億15百万円減少の34億98百万円となりました。主な要因は、長期借入金3億56百万円の減少とリース債務65百万円及び退職給付引当金65百万円の増加等によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億60百万円増加の47億33百万円となりました。主な要因は、四半期純利益による利益剰余金1億99百万円の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

①会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

②法人税率の変更等による影響

平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布され、平成24年4月1日以降に開始する事業年度より法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年3月31日まで 40.4%

平成24年4月1日から平成27年3月31日 37.8%

平成27年4月1日以降 35.4%

この税率の変更により繰延税金資産の純額が85,426千円減少し、当第3四半期連結累計期間に費用計上された法人税等調整額が93,773千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,485,814	3,297,812
受取手形及び売掛金	2,948,263	4,408,315
商品及び製品	884,119	953,635
仕掛品	49,136	51,085
原材料及び貯蔵品	315,979	362,147
繰延税金資産	106,179	65,808
その他	34,659	33,593
貸倒引当金	△6,524	△9,804
流動資産合計	7,817,628	9,162,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,613,691	2,527,308
機械装置及び運搬具(純額)	432,148	390,065
土地	3,350,829	3,350,427
リース資産(純額)	293,904	386,940
その他	38,173	39,820
有形固定資産合計	6,728,747	6,694,563
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,201
その他	2,526	2,083
無形固定資産合計	23,727	23,284
投資その他の資産		
投資有価証券	1,487,723	1,569,138
出資金	85,067	85,067
敷金及び保証金	132,551	135,814
保険積立金	20,428	20,937
繰延税金資産	1,009,809	947,908
その他	264,922	254,890
貸倒引当金	△185,476	△185,397
投資その他の資産合計	2,815,025	2,828,358
固定資産合計	9,567,500	9,546,205
資産合計	17,385,129	18,708,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,312,981	3,293,928
短期借入金	5,857,350	6,122,400
未払金	451,872	567,316
未払費用	86,738	96,395
未払法人税等	128,931	93,273
賞与引当金	216,843	107,643
リース債務	72,962	101,593
その他	70,792	94,516
流動負債合計	9,198,472	10,477,068
固定負債		
長期借入金	1,466,500	1,110,100
退職給付引当金	1,766,515	1,832,439
役員退職慰労引当金	215,926	224,681
リース債務	225,390	291,269
その他	40,060	40,139
固定負債合計	3,714,393	3,498,629
負債合計	12,912,865	13,975,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	298,158	497,717
自己株式	△73,862	△74,034
株主資本合計	4,419,603	4,618,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,675	113,127
その他の包括利益累計額合計	51,675	113,127
少数株主持分	984	984
純資産合計	4,472,263	4,733,102
負債純資産合計	17,385,129	18,708,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	23,128,862	22,541,698
売上原価	18,539,996	18,103,898
売上総利益	4,588,865	4,437,800
販売費及び一般管理費	3,889,668	3,862,507
営業利益	699,197	575,293
営業外収益		
受取利息及び配当金	20,869	21,889
不動産賃貸料	31,363	44,730
その他	17,794	23,052
営業外収益合計	70,026	89,671
営業外費用		
支払利息	97,113	89,397
その他	1,016	6,350
営業外費用合計	98,129	95,747
経常利益	671,094	569,217
特別利益		
固定資産売却益	190	4,880
投資有価証券売却益	—	2,304
収用補償金	—	38,570
特別利益合計	190	45,755
特別損失		
投資有価証券評価損	183,569	214
固定資産除却損	6,866	20,930
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,656	—
特別損失合計	206,092	21,144
税金等調整前四半期純利益	465,192	593,828
法人税、住民税及び事業税	283,754	247,873
法人税等調整額	34,979	96,285
法人税等合計	318,733	344,158
少数株主損益調整前四半期純利益	146,458	249,669
少数株主利益	0	0
四半期純利益	146,458	249,669

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	146,458	249,669
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,261	61,451
その他の包括利益合計	△6,261	61,451
四半期包括利益	140,197	311,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,197	311,121
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,858,796	12,270,065	23,128,862
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,858,796	12,270,065	23,128,862
セグメント利益	684,771	360,251	1,045,023

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,045,023
全社費用(注)	△345,825
四半期連結損益計算書の営業利益	699,197

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,727,518	11,814,179	22,541,698
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,727,518	11,814,179	22,541,698
セグメント利益	698,308	228,550	926,858

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	926,858
全社費用(注)	△351,564
四半期連結損益計算書の営業利益	575,293

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。